



第3回 JB (ジョイント・尾州)

2006年春夏東京展

ニュース No 1

発行：FDC (一宮地場産業ファッションデザインセンター)

FDCは明日14日から3日間、東京青山・青山ベルコモンズで「第3回JB (ジョイント・尾州) 06年春夏東京展」を開催する。展示会には尾州産地のテキスタイルメーカー15社と1グループ (FDC匠ネットワーク) が参加する。展示点数は15社合計で約1,150点、FDCインデックスコーナーで約150点、合わせて約1,300点。インデックスコーナーはダスティ (埃っぽい)、ラフ・ラグジュアリー (豪華な粗野さ)、エアリー (空気のような)、カントリー (田舎) の4テーマで構成する。なお初日の開始時間は午後1時 (2日目以降は午前10時) から。

今回のポイント

1、パリで試し済み素材

JBブランド構築事業実行委員会は今年3月、パリのルーヴル美術館で「JBブランド・パリ展」を開催し、パリを始め欧州のアパレル・ファッション業界で好評を博したが、今回の東京展にはパリ展参加企業が多数参加する。今回の出展素材はパリ展での出品素材とは異なるものの、いわば国際舞台で試し済みの企業が新作を披露する。

2、ネリーロディ社の指導

今回の作品制作に当たってはFDCが提携しているパリのネリーロディ社の国際トレンドに基づいて参加企業をアドバイスした。各社はこれを基本にそれぞれの“特徴技”を加味した作品を制作、出展する。従ってオリジナル性が高く競合素材は少ない。

3、愛・地球博と連動の素材

出展素材は各社のオリジナル性が強いが、ひとつの共通点は開催中の「愛・地球博」のコンセプトを反映して環境素材に力点が置かれている点である。具体的にはバンブー、大豆繊維、デニム、イラクサ、綿・麻、紙素材、天然草木染めなどである。

4、和素材・高度加工素材

上記のほか、越後上布、柿渋染めなど「和」をコンセプトとした素材、箔加工、フロッキー加工などの高度加工素材も多く出品される。

5、サマー獣毛素材

今回の展示会には獣毛が春夏物としてデビューする。綿・麻と獣毛の混紡、綿・麻・絹との獣毛混など新感覚のサマーツイード素材を狙ったものも出品される。

会期中の問い合わせはFDC (0586-46-1361) まで。



第3回 JB (ジョイント・尾州)

2006年春夏東京展

ニュース No 2

発行：FDC (一宮地場産業ファッションデザインセンター)

第3回 JB 東京展開催

FDCは14日から3日間の会期で、東京北青山・青山ベルコモンズを会場に「第3回 JB (ジョイント・尾州) 06年春夏東京展」が開幕した。展示会には尾州産地のテキスタイルメーカー15社と1グループ (FDC 匠ネットワーク) が参加している。初日の14日は午後1時の開場とともに来場者が訪れ、6時の閉幕まで会場は賑わった。初日の来場者数は名刺・受付ベースで197名だった。なお昨年5月の「第1回 JB 春夏東京展」の3日間合計来場者は882名だった

オンワード樫山、三陽商会、東京スタイルなど来場

主な来場アパレルはオンワード樫山、ワールド、三陽商会、東京スタイル、ジュン、オリゾンティなど総合・レディス関係のほか、ラグラックス信和などメンズアパレルなどで、小売店では伊勢丹、三越、東武百貨店、ユナイテッドアローズなど有力百貨店、セレクトショップが来場した。またコンバーターでは瀧定大阪、瀧定名古屋、タキヒヨー、モリリン、丸増、三景などが会場を訪れた。さらに上海のアパレルの東京オフィスも来場した。

来場者は今回の第3回 JB 東京展について「尾州は秋冬中心型の産地だが、春夏物も充実している」(アパレル)、「商品が垢抜けしていて、魅力を感じる」(アパレル)、「我々は直接的に素材を仕入れるわけではないが、ファッションにおいて素材の果たす役割は重要。自社企画 (PB) 含めてこの目で流れを確かめにきた。新素材も多く、参考になった」(百貨店) と話していた。

また3月に JB ブランドのパリ展を開催したこともあり、プレス関係者から「パリ展での出展素材はどこにあるの」という問い合わせも多かった。この点に関して FDC は「パリ展に出した素材は、各出展者が一部持ってきているケースもあるが、基本的には新作を展示している。各ブースに問い合わせを欲しい」と話していた。

各社ブースでは終日熱心な商談が繰り広げられたが、特にパリ・ネリーロディ社の指導で構成した FDC インデックスコーナーでは、コンセプトパネルをメモしたり、サンプルをリクエストする来場者が目立った。

「サンプル請求」は86%

FDC は会場に来場者アンケートを実施しているが、初日の結果は以下の通り。

総合評価		関心のある素材はあったか	サンプル請求をしたか
大変良い	22%	あった	100%
良い	67%	無かった	0%
普通	11%		
あまり良くない	0%		
悪い	0%		
			請求した
			86%
			後からする
			0%
			しない
			14%

会期中の問い合わせは FDC (0586-46-1361) まで。



第3回 JB (ジョイント・尾州)

2006年春夏東京展

ニュース No 3

発行：FDC (一宮地場産業ファッションデザインセンター)

初日のリクエスト1,074点

14日開幕した「JB (ジョイント・尾州) 東京展」は2日目を迎えた15日、終日の降雨にもかかわらず開場の10時から多数の来場者がつめかけた。個性派アパレルやデザイナー系アパレルなどの新規に加えて前日来場した大手アパレル企業のリピーターも多く、各ブースでは熱のこもった商談が繰り広げられた。初日のサンプルリクエスト数は延べ242社から1,074点となり、出展社1社平均(1グループを含む)では15社から67点のリクエストとなり、尾州産地の春夏物が改めて評価される格好になったが、リクエストの44%はアパレルからだった。見本反請求は9点だった。なお、2日目の来場者は325名となり、初日との合計は522名となった。

2日目の来場者は325名

2日目の主な来場者は、オンワード樫山、ワールド、三陽商会、レナウン、東京スタイル、イギン、小杉産業、ファイブフォックス、ジュニア、リオ横山などのほか、デザイナー系アパレル、個性派アパレル、中堅・中小アパレルなど幅広い層が来場した。商社・コンバーターでは豊島、瀧定大阪、瀧定名古屋、タキヒヨー、三共生興、ヤギ、田村駒、外村、チクマ、マスダ、ダイショーファッションテキスタイルなどに加えて総合商社繊維部門を含め多くの企業が来場、商談を進めた。海外では中国・南通世普服飾有限公司東京オフィスが来場した。

来場者が特に関心を示した素材は 環境に優しい素材 春夏のソフトな獣毛混素材 「和テスト」の素材 高機能高加工素材などで、特に愛知県で開催中の「愛・地球博」の影響もあってバンブーやケナフ、草木染めなどの環境素材に興味を示していた。これらの展示ブースでは絶えることなく終日商談が続いた。展示方法についても「わかりやすい提案」との評価があった。

2日目の来場者アンケートの結果は以下の通りであるが、「関心のある素材はありましたか」の設問に回答者の82%が「あった」と回答、改めて尾州産地の春夏素材開発の進展を裏付けた。出展社は「満足する結果。明日の最終日も楽しみだ。」と話していた。

「関心のある素材があった」82%

FDC は会場で来場者アンケートを実施しているが、2日目の結果は以下の通り。

総合評価	関心のある素材はあったか	サンプル請求をしたか
大変良い 0%	あった 82%	請求した 70%
良い 52%	無かった 18%	後からする 12%
普通 48%		しない 18%
あまり良くない 0%		
悪い 0%		

会期中の問い合わせはFDC (0586-46-1361) まで。



第3回 JB (ジョイント・尾州)

2006年春夏東京展

ニュース No4

発行：FDC (一宮地場産業ファッションデザインセンター)

盛況のうちに閉幕、来場者計は906名

14日開幕した「JB (ジョイント・尾州) 東京展」は16日、盛況のうちに閉幕した。3日目の16日も開場と同時に多数の来場者が訪れ、各社ブースでは熱心な商談が繰り広げられた。前日に続いて同じ会社内での口コミもあってか、これまでに来場したアパレル企業の異なるブランド担当者の来場が目立った。今回のJB東京展の主な特徴は 商談本位の来場者が目立った 大手、総合に加えてDC (デザイナー・キャラクター) アパレルなど客層が広がった、の2点。これを示すように来場者のサンプルリクエスト率は3日目のアンケート調査で65%と高く、その数は1日目・延べ242社から1,074点、2日目・同336社から2,173点に達した。さらに全サンプルリクエスト数のうち50%近くがアパレルからだった。(3日間合計は17日発表します)

3日間の合計来場者数は906名で、昨年6月の第1回展の882名を上回った。

DC系や個性派アパレルも来場

3日目は、オンワード樫山、ワールド、三陽商会、イトキン、東京スタイル、ラピーヌ、ルック、イッセイミヤケ、ビギ、トリキ、ロートレ・アモン、オリゾンティ、トゥモローランド、トミーヒルフィガー・ジャパンなど大手・総合からDC、海外企業ジャパン社、合繊メーカー系までわが国を代表するアパレルが来場した。出展者は「来場アパレルの広がりには驚いている」、「十分満足できる内容。商談をどう詰めていくか、真剣に考え、なんとしても成約に結び付けたい」と話していた。商社、コンバーターの来場も多く、大手総合商社繊維・アパレル部門、専門商社、服地コンバーターなどが会場を訪れたが、大手コンバーターの中には「尾州産地との取り組みを強化、発展させたい」とトップクラスが来場し、注目された。さらにはイトーヨーカ堂、ユナイテッドアローズなど小売店も来場した。異色では化粧品メーカーも訪れた。

「関心のある素材」92%が「あった」と回答

FDCは会場で来場者アンケートを実施しているが、3日目の結果は以下の通り

総合評価	関心のある素材はあったか	サンプル請求をしたか
大変良い 0%	あった 92%	請求した 65%
良い 72%	無かった 8%	後からする 22%
普通 25%		しない 13%
あまり良くない 3%		
悪い 0%		

第3回JB（ジョイント・尾州）東京展の最終結果 ニュースNo5

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて6月14、15、16日の3日間、東京・青山ベルコモンズで開催した、標記イベントの最終報告を送付いたします。よろしくご配慮下さい。

1、イベント名・対象シーズン

- ・「第3回JB（ジョイント・尾州）東京展」
- ・2006年春夏向け服地（主に婦人服対象）

2・主催・参加者

主催・FDC、参加社・15社1グループ

3、展示商品

- ・15社計・約1,150点、FDCインデックスコーナー・155点 合計約1,300点

4、会期中の来場者数と業種

- ・906名（第1回展＝春夏対象＝882名＝2004年6月開催）

5、会期中の成約（サンプルリクエストとその内訳）

<サンプルリクエスト数>

- ・15社1グループ計・延べ1,061社から5,869点（第1回展5,717点）
1社平均・66社から367点

なお、この合計にはインデックスコーナーのみに出展した3社のカウントは除かれており、実質は6500点に達しているものと推察される。

- ・最大受注者 650点
最小受注者 123点

<発注者の内訳>

- アパレル 44%
- 問屋・商社 50%
- 小売店 4%
- その他 2%



この件に関するお問い合わせはFDC（0586-43-5747）まで。